

寄せ蛾記

埼玉昆虫談話会

YOSEGAKI : Saitama Konchyū Danwakai

目 次

並木 彰雄	：埼玉県のヤガ科 (II)	314
成田 佳紀	：紅頭嶼の昆虫	319
荻島 和美	：キタテハの就眠行動	326
新井 裕	：埼玉県のトンボ3種の記録	327
荻島 和美	：低地におけるミドリヒヨウモンの記録	327
市川 和夫	：銀山平(足尾町)初冬の蛾10種の記録	328
原 聖樹	：大月市でニホンセセリモドキを採集	328
柴崎 行雄	：桶川市におけるウラギンシジミの記録	329
市川 和夫	：上尾市平塚の蝶2種の記録	329
竹内 崇夫	：近況報告 (1)	329
文献紹介		330
× × × ×	：訂正3件	330
会報		331
推薦広告のページ		333

埼玉県のヤガ科 (II)

並木彬雄

前回に続いて、今回はキノコヨトウ、タバコガ、モンヤガ亜科を手元の採集品により発表する。和名の後につけた※印は埼玉県未記録種を示す。

キノコヨトウ亜科 Cryphiinae

1. キノコヨトウ *Cryphia obscura* WARREN

浦和市 7月中旬より8月中旬までの記録が有る

2. イチモジキノコヨトウ *C. granitalis* BUTLER

志賀坂峠、大洞川上流、三国峠、8月中旬より9月中旬までの記録が有る

3. ハイイロキノコヨトウ *C. griseola* NAGANO

志賀坂峠 (1♂ 26-VIII-1973)、大洞川上流 (♂ 14-VIII-1972)

4. アオキノコヨトウ **C. assimilis* WARREN

大洞川上流 (1♂ 1♀ 14-VIII-1972)

5. マルモジキノコヨトウ *Bryomoia melachlora* STAUDINGER

大洞川上流 (1♀ 21-VIII-1974)、三国峠 (1♂ 3-VIII-1975,
2♂ 15-VIII-1971, 2♂ 16-VIII-1974)

6. シロスジキノコヨトウ (シロスジコヤガ) *Stenoloba jankowskii*
OBERTHÜR

正丸峠、三峰山、三国峠、7月上旬及び8月中旬の記録が有る

7. アシメキノコヨトウ (アシメコヤガ) **Cryphia confusa* LEECH

三峰山 (1♀ 5-VIII-1964, 1♂ 14-IX-1969)

タバコガ亜科 Heliothidinae

1. ツメクサガ *Heliothis viriplaca aduucta* BUTLER

志賀坂峠 (1♂ 26-VIII-1973) 三国峠 (1♂ 9-VIII-1972)

2. オオタバコガ *H. armigera* HÜBNER

大滝村川又 (2♂ 1♀ 4-X-1970)、柄本 (1♂ 6-IX-1970)

志賀坂峠 (♂ 26-VIII-1973, 1♂ 15-IX-1974)、

三国峠 (1♂ 1♀ 7-IX-1975)

3. タバコガ *H. assulta* GUENÉE

川口市、浦和市、大宮市、宝登山、三国峠、5月中旬より9月下旬までの記録が有る

4. キタバコガ *Pyrrhia umbra* HUFNAGEL

三峰山 (1♂ 4-X-1964)、大洞川上流 (1♂ 14-VII-1972)
 三国峠 (2♂ 15-VII-1971、1♂ 16-VII-1974)

5. ウスオビヤガ *P. bifasciata* LEECH

三峰山 (4♂ 5-VII-1964、1♂ 14-IX-1969)

モンヤガ亜科 Noctuinae

1. トビイロヤガ *Euxoa sibirica* BOISDUVAL

川口市、定峰峠、宝登山、三峰山、中双里、6月中旬より10月中旬までの記録が有る

2. クモマウスグロヤガ [※]*Euxoa* sp.

三国峠 (1♀ 3-VII-1975、8♂ 1♀ 7-IX-1975)

3. ムギヤガ *E. obertuliri* LEECH

三峰山 (1ex. 7-VII-1964、1♂ 17-VII-1969)

4. クロヤガ *E. nigrata* MATSUMURA

三国峠、8月中旬より9月中旬までの記録が有る

5. タマナヤガ *Agrotis ipsilon* HUFNAGEL

川口市、鳩ヶ谷市、大宮市、所沢市、宝登山、大輪、志賀坂峠、三峰山
 三国峠、大滝村川又、柄本、5月中旬より11月上旬までの記録が有る

6. カブラヤガ *A. fucosa* BUTLER

川口市、鳩ヶ谷市、浦和市、大宮市、顔振峠、黒山、宝登山、志賀坂峠
 大輪、三峰山、大滝村川又、柄本、三国峠、5月上旬より11月中旬までの記録が有る

7. オオカブラヤガ *A. tohionis* BUTLER

川口市、浦和市、大宮市、10月上旬の記録が有る

8. センモンヤガ *A. exclamatiois informis* LEECH

三国峠 (1♂ 8-VI-1975、1♂ 9-VII-1972)

9. ホシボシヤガ *Hermonassa arenosa* BUTLER

志賀坂峠 (1♂ 15-IX-1974)、三国峠 (1♂ 9-VII-1972、
 1♂ 15-VII-1971)

10. クロクモヤガ *H. cecilia* BUTLER

鳩ヶ谷市、大宮市、定峰峠、顔振峠、宝登山、三峰山、大洞川上流、三国峠、5月上旬より10月下旬までの記録が有る

11. マエジロヤガ *Ochropleura plecta glaucimacula* GRAESER

川口市、浦和市、大宮市、所沢市、三峰山、三国峠、
 4月上旬より9月中旬までの記録が有る

12. コキマエヤガ *O. triangularis* MOORE

川口市、鳩ヶ谷市、浦和市、大宮市、定峰峠、宝登山、三峰山、三国峠
6月上旬より9月中旬までの記録が有る

13. ホソアオバヤガ *O. praecox* *flavomaculata* GRAESER

志賀坂峠 (1♂ 15-IX-1974)、三国峠 (1♀ 3-VIII-1973)

14. オオホソアオバヤガ *O. praeurrents* STANDINGER

定峰峠、志賀坂峠、三峰山、三国峠、5月下旬より6月中旬までの記録
が有る

15. ナカグロヤガ *Noctua undosa* LEECH

三峰山、三国峠で6月上旬より9月中旬までの記録が有る

16. シロオビハイイロヤガ *Spaelotis lucens* BUTLER

大洞川上流 (1♂ 14-VII-1972)、三国峠 (1♂ 9-VII-1972、
3♂ 3-VIII-1975、1♂ 16-VIII-1974)

17. ミヤマアカマエヤガ [※]*S. valida* WALKER

志賀坂峠 (1♂ 1-VII-1973)、三国峠 (1♂ 9-VII-1972)、
他に、大宮市大谷 (1ex. 24-X-1971、1ex. 26-X-1972 桜井 茂)
の標本が有るが、再同定の要が有る

18. アカマエヤガ *Spaelotis nipona* C. et R. FELDER

浦和市 (1♂ 1♀ 7-VI-1969)

19. カバスジヤガ *Sineugrapha exusta* BUTLER

川口市 (1♂ 27-VI-1970)、三峰山 (1♂ 5-VII-1964)

20. ウスイロカバスジヤガ *S. dysgnosta* BOURSIN

宝登山、三峰山、大洞川上流、三国峠、6月上旬より10月上旬までの
記録が有る

21. オオカバスジヤガ *S. longipennis* BOURSIN

三峰山 (埼玉県動物誌)

22. オオバコヤガ *Diarsia canescens* BUTLER

川口市、浦和市、大宮市、顔振峠、定峰峠、大滝村川又、秩父市、大輪
三峰山、三国峠、5月上旬より11月上旬までの記録が有る

23. ウスアカヤガ *D. albipennis* BUTLER

顔振峠、志賀坂峠、大輪、柄本、三峰山、5月上旬より11月上旬まで
の記録が有る

24. モンキヤガ *D. deiwitzi* GRAESER

大洞川上流 (1♂ 21-VII-1974)、三国峠 (2♂ 3-VIII-1975、
1♂ 16-VIII-1974、1♂ 7-IX-1975)

25. コウスチャヤガ *D. deparca* BUTLER

川口市、浦和市、鳩ヶ谷市、顔振峠、宝登山、定峰峠、大輪、三峰山、
三国峠、5月上旬より11月上旬までの記録が有る

26. ヤマトウスチャヤガ *D. nipponia* OGATA
三国峠 (2♂ 3-VIII-1975)
27. ウスイロアカフヤガ *D. rificauda* WARREN
三峰山 (1ex. 12-V-1973)
28. アカフヤガ *D. pacifica* BOURSIN
川口市、大宮市、顔振峠、定峰峠、志賀坂峠、三国峠、
5月上旬より10月上旬までの記録が有る
29. アルプスヤガ *Xestia speciosa* HÜBNER
甲武信岳 (原色昆虫大図鑑 I)
30. クロフトビイロヤガ *X. fuscostigma* BREMER
宝登山、志賀坂峠、栃木、三峰山、三国峠、8月上旬より10月上旬まで
の記録が有る
31. シロモンヤガ *X. c-nigrum* LINNE
川口市、鳩ヶ谷市、浦和市、大宮市、顔振峠、定峰峠、宝登山、志賀坂
峠、大滝村川又、栃木、大輪、三峰山、大洞川上流、中双里、三国峠、
5月上旬より11月上旬までの記録が有る
32. タンポポヤガ *X. ditrapezium orientalis* STRAND
定峰峠、志賀坂峠、三峰山、大洞川上流、三国峠、
6月上旬より9月中旬までの記録が有る
33. ハコベヤガ *X. kollari plumbata* BUTLER
宝登山、三峰山、大洞川上流、三国峠、8月中旬より10月上旬までの
記録が有る
34. マエキヤガ *X. stupende* BUTLER
宝登山 (1♂ 8-X-1972)、志賀坂峠 (1♂ 15-IX-1974)
三国峠 (1♂ 7-IX-1975)
35. ウスチャヤガ *X. dilatata* BUTLER
川口市、浦和市、宝登山で10月上旬より下旬までの記録が有る
36. キミミヤガ *Amathes tabida* BUTLER
三国峠 (2♂ 15-VIII-1971、5♂ 1♀ 16-VIII-1974、2♀ 7-IX-1975)
37. キシタミドリヤガ *Xestia efflorescens* BUTLER
三峰山、三国峠で、7月上旬より9月中旬までの記録が有る
38. ハイイロキシタヤガ *X. semiherbida decorata* BUTLER
定峰峠、志賀坂峠、宝登山、栃木、三峰山、大洞川上流、三国峠、
6月上旬より9月中旬までの記録が有る
39. クロギシギシヤガ *Naenia contaminata* WALKER
川口市、浦和市で、5月下旬より7月中旬までの記録が有る

40. オオアオバヤガ *Anaplectoides virens* BUTLER

志賀坂峠、三峰山、三国峠で、7月上旬より9月中旬までの記録が有る

41. アオバヤガ *A. prasina* DENIS et SCHIFFERMÜLER

三峰山 (1♂ 5-VI-1964)、三国峠 (1♂ 9-VII-1972、
2♂ 15-VIII-1971)

42. カギモンヤガ *Cerastis pallescens* BUTLER

川口市、大宮市、浦和市、黒山、顔振峠、大輪、三峰山、
3月下旬より5月上旬までの記録が有る

43. ムラサキウスモンヤガ [※]*C. leucographa* DENIS et SCHIFFERMÜLER

三国峠 (1♂ 11-V-1975)

44. タカオキリガ *Pseudopanolis takao* INABA

柄本 (寄せ蛾記)



本亜科の北方種はほほ出つくした感じですが、残りは高山種と暖地種と思われます。高山種は、あまり期待は出来ないと思われますが、早大が来ると言われている所沢市の狭山丘陵、あるいは金子丘陵等、今の内に調査をしなければ、くわしい分布図が書けなくなると思われますが、地元で出来る方が居ればお願ひしたいところです。

(〒332 川口市並木元町5-2)

(中)

レ

紅頭嶼の昆蟲

成田 佳紀

本調査は、1967年3月23日より同4月4日までの12日間に、中華民国台東県紅頭嶼(現名：蘭嶼)にて、「蘭嶼學術調査」(横浜市立大学探検部)の一環として行ったものである。紅頭嶼は、台東の南東約90Kmに位置する孤島であり、面積約48Km²、周囲36Kmの古い火山島で、日本で言えばちょうど三宅島ほどの大きさである。(図.1) パシー海峡の北端にあるこの島の最高峰「紅頭山」(標高548m)からはフィリピンのバタン諸島が見られ、この島に生息する生物も台湾本島に見られない、フィリピン系のものが多い。調査地は、各部落(6部落)を結ぶ道・部落内及びその周辺に限られたため、今後は、紅頭山を中心に調査を行えばおもしろい結果が得られよう。(図.2)

I. 紅頭嶼の蝶

A. 概略

本島における蝶の種類数、個体数(個体密度)は、台湾本島ほど多くはない。しかし、台湾本島との気候的条件や地理的条件の違いから、台湾本島との同一種であっても、たとえばタテハモドキ *Precis almana almana* LINNÉ のように、3月に於て台湾本島では冬型(1967年3月17日 台東県紅葉村 ^{モミジヒラ}筆者採集)であるのに対して、本島では夏型である(本島に於てはタテハモドキの冬型はないものと思われる)というような違いが見られる。

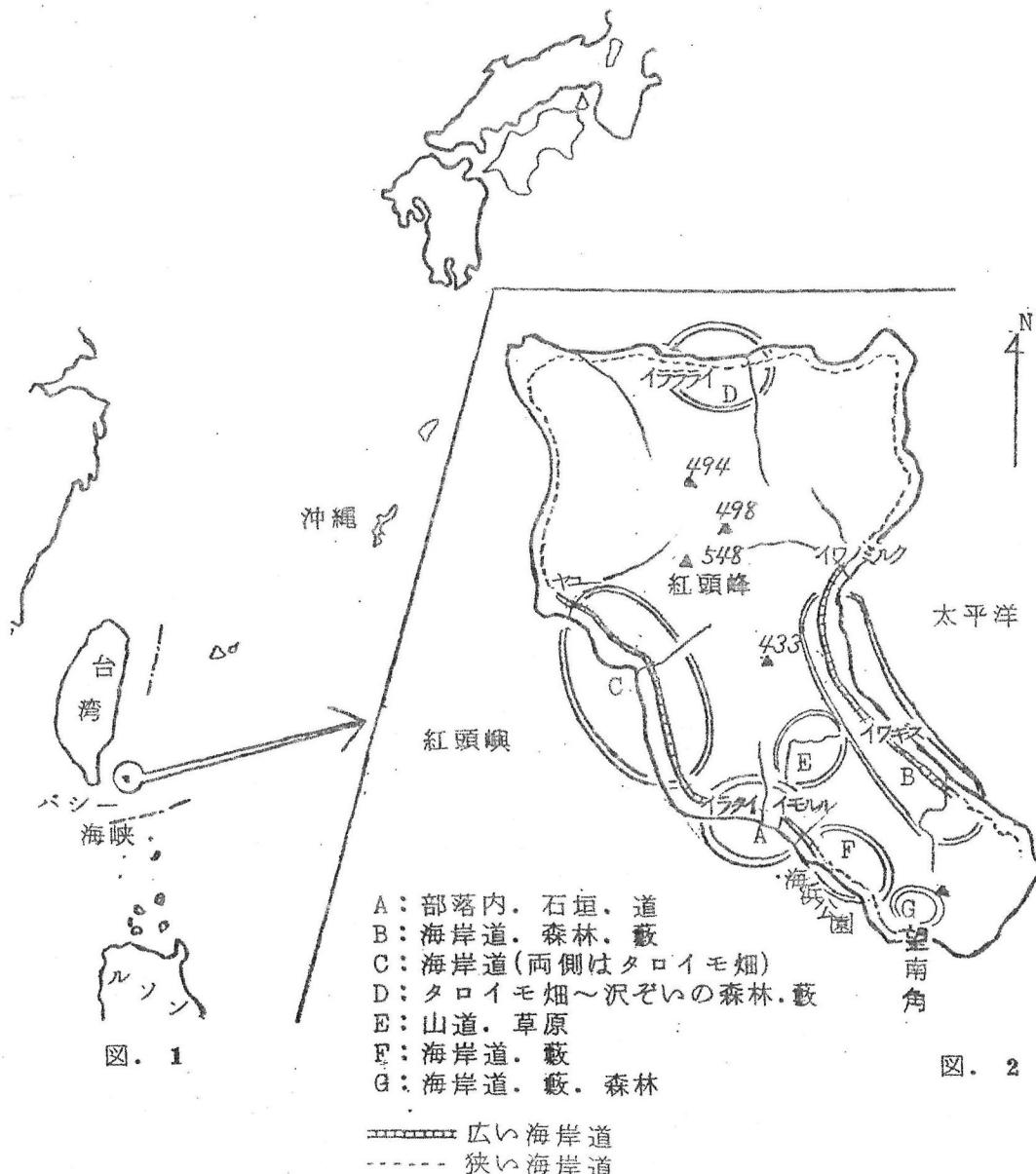
本島は、蝶によれば東南アジア区の中でもフィリピン系に入ると思われ、この点は後述する甲虫によれば一層明らかであろう。

B. 種類数の比較

本島は、台湾本島と地理的にも一線を引かれるべきであり、その意味で台湾の蝶を考えるときには、本島及び火燒島(本島北60Km 台東の東約40Kmに位置する)は、できれば個別に扱うのが望しいと思う。本調査で採集した蝶の同定は、「原色台灣蝶類圖鑑」(保育社、白水隆著 昭和41年4月1日、四刷)によるが、その中で本島に生息する蝶に対してはかなり不明確な点が多く、図鑑中の分布概念図も本島を考慮していない点も多い。本調査では、7科22種を記録したが、上述図鑑中にはっきり記録ありと明示されてない種は以下の通り11種あった。

ベニモンアゲハ シロオビアゲハ キチョウ スシグロカバマダラ
 ウスイロコノマチョウ リュウキュウミスジ アマミウラナミシジミ
 カクモンシジミ タイワンクロボシシジミ オオシロモンセセリ
 タイワンキマダラセセリ

今後の参考のために、上述図鑑中の 332 種(亜種を一部含む)に關し台湾本島及び本島に於ける種類数の比較を記す。



台湾本島及び紅頭嶼における種類数の比較

科名	台湾全島	台湾本島に生息	紅頭嶼特産種	本島より記録あり(1966年白水)	本調査により新たに記録 注1	本島よりなし	本島に生息しないと思われる 注2	不明
アゲハチョウ科	33種 亜種1を含む	31種	2種 亜種1を含む	8種 特産種2含む	2種 注1	5種	9種 注2	9種
シロチョウ科	32	31	1	7 特産種1含む	1	0	11	13
マダラチョウ科	18 火焼島特産 亜種1含む	17	0	3	1	0	3	11
ジャノメチョウ科	38	38	0	3	1	0	23	11
ワモンチョウ科	1	1	0	0	0	0	1	0
タテハ・チョウ科	65	65	0	14	1	14	28	8
テングチョウ科	1	1	0	0	0	0	0	1
シジミタテハ科	2	2	0	0	0	0	2	0
ウラギンシジミ科	2	2	0	0	0	0	0	2
シジミチョウ科	91	91	0	9	3	1	50	28
セセリチョウ科	49	49	0	9	2	1	22	15
計	332	328	3	53	11	21	149	98

注1) 本島より記録ありとは、上述図鑑中に明確に記録ありとされているものだけであり、本来記録があっても図鑑中に明示されていないものは除外されている可能性がある。

注2) 本島に生息していないと思われる、とあるものは、上述図鑑中に於いて、台湾本島でもごく限られた地域(例:山地~高山地帯にのみ生息)または、稀種とされて過去の記録が全て記されているものなどにより筆者が判断したものである。

以上、台湾全土に生息する 332 種中、紅頭嶼に生息するか否か不明のものが 98 種もあり全体の約 30 % にもなっており、今後の詳細な調査が望まれる。

なお、本調査では、植物の調査を行っておらず、植物調査を徹底すれば、不明 98 種の中でもう少し具体的な生息の可能性がはつきりするのではないかどうか。

C. 採集蝶目録 1967-III-23~IV-2 [] 内は採集地点

Papilionidae アゲハチョウ科

Troides magellanus C. & R. FELDER コウトウキシタアゲハ [※]

紅頭嶼特産種である。森林の中や藪の上方を高く飛ぶ。イワギス、海浜公園に多い。[A F G、目撃 B]

Papilio bianor kotoensis SANAN カラスアゲハ (紅頭嶼亜種) [※]

森林の中の沢ぞいに蝶道を作つて飛ぶ。個体数はイワギスに多い。[B]

Papilio polytes pasikrates FRUHSTORFER シロオビアゲハ

[B] 

個体数は台湾本土ほど多くはない。花を求めて森林下方まで降りて来る

Menelaides aristolochiae interpositus FRUHSTORFER ベニモンアゲハ

海岸道付近の花に集まる。海浜公園～望南角にいる。[F]

Pieridae シロチョウ科

Cepora coronis FRUHSTORFER タイワソシグロチョウ

海岸疎林の日だまりの花に群がる。イワギスに非常に多い。[B、目撃 F]

Eurema hecabe hobsoni BUTTER キチョウ

海岸道付近をせわしく飛ぶ。イモルル～ヤュー間にいる。[C]

Danaidae マダラチョウ科

Salatura genutia CRAMER スジグロカバマダラ [△]

路傍の花に集まる。海浜公園付近に多い。[B E F]

Idae leuconoe clara BUTTER オオゴマダラ

海岸疎林の中に群がる。非常にゆるやかに飛ぶ。イワギス、海浜公園、イララライにきわめて多い。[A B D E F G]

Satyridae ジャノメチョウ科

Ypthima baldus zodina FRUHSTORFER コウラナミジャノメ

山道の両側の斜面や藪の中にいる。個体数はかなり多い。[B C E]

Nymphalidae タテハチョウ科

Precia almana LINNE タテハモドキ

海岸道にいる。台湾本土の同時期の本種と少々異なる。本土のは冬型(秋型)、本島のは夏型。イモルル～ヤュー間、イワギスに多い。[A B C D]

Vanessa cardui LINNE アカタテハ

本島には個体数少ない。〔C〕

Hypolinunas misippus LINNE メスアカムラサキ

路傍の日だまりの花に来る。あまり個体数は多くない。海浜公園～望南角付近。〔F G〕

Neptis hylas luculenta FRUHSTORFER リュウキュウミスジ△

個体数少なし。〔F〕

Lycaenidae シジミチョウ科

Lampides boeticus LINNE ウラナミシジミ

海岸の藪にとまっている。海浜公園に多い。〔F〕

Nacaduba kurava asakusa FRUHSTORFER アマミウラナミシジミ△

海浜公園に多し。〔B〕

Syntarucus plinius FABRICIUS カクモンシジミ△

海浜公園に多し。〔F〕

Megisba malaya valubilis FRUHSTORFER タイワンクロボシシジミ△

草原(オニガヤ)。個体数少ない。〔C〕

Zizeeria mahaokinawana MATSUMURA ヤマトシジミ

本島いたる所にいる。非常に個体数多し。特に部落の石垣の草の上や路傍の草などにいる。〔A B C D F〕

Hesperiidae セセリチョウ科

Hasora chromus inermis ELWES & EDWARD オキナワビロウドセセリ

少なし。〔F〕

Udaspes folus CRAMER オオシロモンセセリ△

少なし。〔F〕

Potanthus confucius angusta MATSUMURA タイワンキマダラセセリ△

少なし。〔B〕

(補遺)

Satyridae ジャノメチョウ科

Melanitis leda leda LINNE ウスイロコノマチョウ△

個体数少なし。〔C〕

Nymphalidae タテハチョウ科

Precis orithya orithya LINNE アオタテハモドキ

多數目撃。〔目撃A B〕

※・・・本島特産種 △・・・本調査による

採集品は筆者保存

II. 紅頭嶼の半翅類と甲虫類

A. 概略

本島の甲虫類は、非常に特異である。甲虫類に於ては採集数の 89 % が本島特産種か、台湾本土にはいないフィリピン・ボルネオ系のものであった。甲虫目の中でも、カミキリムシ科及びゾウムシ科が特に種類数が多い。甲虫目によれば、本島と台湾本土とは地理的に完全に分離されるものである。甲虫目は鱗翅目等と異ってあまり飛ぶことをしないので、地理的な考察には非常に良いと思われ、その点からも上述の事は明らかであると思われる。

B. 採集半翅目 目録 (この項及び次の甲虫目の同定は、国立科学博物館の黒沢良彦氏による。標本も黒沢氏保存)

Homoptera 同翅亜目

Cicadidae セミ科

Mogannia hebes WALKER クサゼミ

Pyrrhocoridae ホシカメムシ科

Artilocatus sp. ベニホシカメムシの 1 種

Pentatomidae カメムシ科

Menida musiva JAKOVLEV ナナホシキンカメムシ

C. 採集甲虫目 目録

Cicindelidae ハンミョウ科

Cicindela aurulenta batesi FLEUTIAUX ヤツボシハンミョウ

Carabidae オサムシ科

Craspedophrus mandarinus SCHAUM コウトウヨツボシゴミムシ*

Scarabaeidae コガネムシ科

Oxycetonia jucunda kotoensis NOMURA コアオハナムグリ* 紅頭嶼亜種

Lucanidae クワガタムシ科

Metallachtulus parvulus HOPE ヒメヒラタクワガタ*

Nigidius baeri BOILEAU コウトウツノヒョウタンクワガタ*

Buprestidae タマムシ科

Chrysodema berlioze DESCARPENTRIES コウトウムネスジタマムシ*

Cerambicidae カミキリムシ科

Lachnopterus socius GHAU ムネグロキンバネカミキリ*

Diocares ambigenus CHEVROLAT コウトウタテスジヒゲナガカミキリ*

Tmesisternus stolatus MATSUSHITA コウトウヒラタスジカミキリ*

(コウトウタテスジカミキリ)

寄せ蛾記 (34) : 325

Doliops similis MIWA & MITONO ニセカタゾウカミキリ [※]

Curculionidae ゾウムシ科

Pachyrrhinchus innularis KANO モンシロカタゾウ [※]

P. sarcitis kotoensis KONO マルモンカタゾウ [※]

P. sonani KONO ソナンカタゾウ [※]

P. yamianus KANO スジカタゾウ [※]

P. tobaforius KANO コウトウカタゾウ [※]

Metapocyrthus immeritus BOHEMAN アカアシカタゾウ [※]

Cosmapolites sordidus CRAMER バショウゾウムシ

※・・・本島特産種

以上の報文は、1967年に調査を行った成果に基いて作成したまま14年間どこにも発表せずにいたものです。その後かなり調査が進んでいるものと思われますが、最新の図鑑でその辺を調べる余裕もなく14年前の内容のままとなりました。どちらにしても、台湾の蝶を記述する際には、紅頭嶼（現名蘭嶼）を別に考える必要性を強く感じております。会員の皆様の中でこの辺に関する情報をお持ちの方がおりましたら、御教授願いたいと思います。

(〒350 川越市岸町2-41-1 教員住宅106号)

キタテハの就眠行動

荻 島 和 美

毎年9月末～10月、柿の実が熟してくる頃になると、アカトンボとともにキタテハ、アカタテハなどがわが家の庭にやって来ます。今年はなぜかアカタテハをまったく見ませんでしたが……。キタテハは柿の葉上やその下の地面に止まって日光浴したり、過熟した柿の実にヒメスズメバチといっしょに吸餌したり、キクの花などで吸蜜したりしています。しかしこの時期以外にはめったにキタテハなど見かけません。時折／頭くらい飛来するくらいなのですが、この時期には10数頭も見られる日もあります。

1981年10月11日の夕方、垣根のサンゴジュのあたりに何頭ものキタテハが群がっていました。近くに腐った梨が捨ててありましたが、それには関心を示さず垣根の前のモチノキのまわりを舞っているようでした。近づいて見るといくつか飛び去りましたが、その時サンゴジュの垣根に止まっている個体がすぐにわかりました。

夜になって見に行くと同じ所にまだ止まっています。よく見ると他にも2頭みつかりました。

地上90cm位の所に1ex. 地上150cm位の所に2exs. たいてい奥まった所でもなく明りで照らして容易に見える位置です。どの個体も頭を下にして触角を前翅の中に入れています。

なお、10月12日、10月17日にも各1ex. ずつ地上150cm位の所に就眠しているのを確認しましたが、その後は見られません。

私の単純な考えでは、野原から越冬に備えて飛来し常緑のサンゴジュなどの葉の中で越冬するのかもしれないと思ったのですが、その後、前記の場所付近にもまったく見つけられません。西日は当たるし、屋敷内だし格好の場所だと思ったのですが……。

(筆者から、この原稿とともに、当日の夜10時にストロボを用いて撮影した就眠中のキタテハの生態写真が送られて来ましたが、印刷の都合上掲載することができません。残念です。…………編集子)

(〒346-01 南埼玉郡菖蒲町小林2952)

埼玉県のトンボ3種の記録

新井 裕

埼玉県からは採集記録の少ないアオモンイトンボ、ルリボシヤンマ、ハネビロトンボの3種について本年(1981年)下記の通り確認したので報告する。

1. アオモンイトンボ *Ischnura senegalensis* RAMBUR

春日部市三本木の古利根川において8月17日に数頭の雄を目撃、写真撮影の後1♂を採集した。

2. ルリボシヤンマ *Aeschna juncea* LINNE

8月15日に秩父郡荒川村の山林中にある貯水槽において上空を飛翔中の1♂を採集、1♀を目撃した。

この貯水槽は2m四方位のコンクリート製のもので、1981年5月31日には本種の幼虫と思われるものを目撃している。

3. ハネビロトンボ *Tramea virginia* RAMBUR

9月16日午前8時30分頃、秩父市大宮で林道の上空をゆっくりと飛翔する1頭を目撃した。採集は出来なかったが、青空をバックに鮮明にみえた後翅の斑紋からして本種であることは間違いない。南方から飛来したものと考えられるが、1週間位の前までの間に特別強風の日はなかった。

(〒360 熊谷市桜木町2-3-27 熊谷第2公舎402)

低地におけるミドリヒョウモンの記録

荻島和美

1981年の南埼玉郡菖蒲町小林におけるミドリヒョウモンの目撲記録は次の通りです。

9月16日 晴れ ミドリヒョウモン /♀ (シオンの花に吸蜜に来る。
ほぼ完全)

9月27日 晴れ ミドリヒョウモン /♂ (フジウツギの花に吸蜜に来る。
右前翅破損 ポロ)

10月3日 晴れ ミドリヒョウモン /♂ (フジウツギ・・、ポロ)

(〒346-01 南埼玉郡菖蒲町小林 2952)

~~~~~  
銀山平(足尾町)初冬の蛾 10種

市川和夫

1981年11月21・22日の両日、栃木県上都賀郡足尾町で環境教育談話会（代表：富樫 裕）が開催されたが、その折に宿泊地の銀山平（海拔約800m）付近で蛾の調査を行った。21日午後2時から4時までは粗林の中を、夜は国民宿舎「かじか荘」の灯火に飛来した蛾を採集して次の種を得たので報告する。同行の諸氏に感謝申し上げる。

## Geometridae

1. シロオビフユシャク *Alsophila japonensis* WARREN // ♂
2. ウスバフユシャク *Inurois fletcheri* INOUE / ♂
3. ナミスジフユナミシャク *Operophtera brumata* LINNÉ / ♂
4. イチモンジフユナミシャク *O. rectipostmediana* INOUE 2 ♂
5. クロオビフユナミシャク *O. relegata* PROUT 2 ♂
6. ナカオビアキナミシャク *Nothoporinia mediolineata* PROUT 3♀、2♂
7. クロスジフユエダシャク *Erannis obliquaria* MOTSCHULSKY / ♂
8. チャバネフユエダシャク *E. golda* DJAKONOV 8 ♂

## Noctuidae

9. アオバハガタヨトウ *Valeriodes viridimacula* GRAESER / ♀

## Notodontidae

10. クシヒゲシャチホコ *Ptilophora nohiraе* MATSUMURA 3 ♂

(〒336 浦和市南本町2-7-11)

~~~~~  
大月市でニホンセセリモドキを採集
原聖樹

1981年8月9日11:40（晴）、大月市大鹿川においてニホンセセリモドキ / ex.（新鮮）を採集した。

本個体はシシウドに訪花していたものである。

(〒220-02 神奈川県津久井町中野617)

桶川市におけるウラギンシジミの記録

柴崎行雄

桶川市川田谷の泉福寺境内にて、1981年10月4日に数頭、また、同所で同年10月19日に1頭、ウラギンシジミを目撃し、19日の個体は境内のギンモクセイの葉上で採集したので報告します。

(〒346-01 南埼玉郡菖蒲町小林 4432)

上尾市平塚の蝶2種の記録

市川和夫

最近姿を見ることが少なくなった2種の蝶についての採集例を報告します。

ウラギンシジミ 1981年9月8日(晴) / ♀採集 / ♂目撃
上尾市平塚字氷川 平塚公園

ツマグロキチョウ 1981年10月19日(晴) / ♂採集
上尾市平塚字氷川 平塚公園

(〒336 浦和市南本町 2-7-11)

近況報告(1)

竹内崇夫

1. 本誌No.33 p.307の小生のレポートにあった所沢市(狭山市ではありませんでした。)の西武ゴルフ場に、1981年11月4日にゼフの採卵に行き、オオミドリシジミ60卵を採取。その気になれば数百卵は楽と思われる程豊産でした。
2. 1981年10月31日 南信濃村 ベニモンカラスシジミ 110卵採集。(ミヤマカラスシジミも混じっています。)
3. 1981年10月10日 高尾小仏トンネル近くでアワブキの葉先をつづった巣中にいたオバセセリの♀令幼虫を1頭採集し室内で飼育したところ10月20日頃5令となり、12月10日頃蛹化した。蛹化後1週間ほど幼虫の体色が残つたが、12月19日頃に白化した。野外では越冬蛹はいつ頃蛹化するのか知りたい。※ 12月24日～1月1日までルソン・パラワンに参ります。

(〒333 川口市芝穂ノ爪 1-14-16)

文 献 紹 介

寄居町史 資料集

「寄居町の自然 動物編」

発行：埼玉県大里郡寄居町教育委員会 昭和56年11月1日

箱入上製本、カラーグラビア8ページ 本文198ページ、他に種名索引
12ページ付

◎ おもな内容

寄居町の動物相（須甲 鉄也）、セキツイ動物全綱、無セキツイ動物は
膜翅類（南部 敏明）、双翅類（原 勝司）、甲虫類（斎藤 良夫）、
鱗翅類（吉田 文作）、半翅類（野沢 雅美）、水生昆虫類（大熊 光治）
直翅類、トンボ類、多足類、クモ類、甲殻類、陸産貝類、環形動物
扁形動物

人名を付けた動物については本会の会員が担当している。

執筆要領は埼玉県動物誌(1978)とほぼ同様であるが、いくらか写真、図が多い。入手希望者は下記へ連絡されたい。

至2000で郵送料実費が必要

発行部数が少ないので早目にどうぞ。各部門別の別刷が欲しい人は執筆者に
問い合わせて下さい。

本年3月には、同じ体裁の植物編（写真集の形式）が刊行されました。

昭和57年に地質編が発行される予定で、これら3編で完結となるそうです。

(紹介者 市川 和夫)

XXXXXX

訂 正 1 「寄せ蛾記」No.33 表紙の目次

XXXXXX 並木 彰雄：埼玉県のヤガ科 ⇠ 並木 彰雄：埼玉県のヤガ科(I)
(誤) (正)

2 「寄せ蛾記」No.33 p. 306 神久保氏の報文のタイトル

狭山丘陵の Catcala . . . ⇠ 狹山丘陵の Catocala . . .
(誤) (正)

3 「寄せ蛾記」No.33 p. 307 竹内氏の報文中 / 行目

(誤) 狹山市西武ゴルフ場 . . . ⇠ 所沢市西武ゴルフ場 (正)

寄せ蛾記
第34号
1981年12月25日
埼玉昆虫談話会
定価 250円